

# みんなでも考えてみよう——市町村合併

六月六日から十一日にかけて、町内六会場で延べ七回の市町村合併説明会を開催しました。出席者の総数は、一八七名でした。出席されたみなさんは、市町村合併についての関心も高く、説明後の意見交換の中では、たくさん意見や質問等が出されました。その内容を一部ご紹介いたします。

## 合併の組み合わせや合併の基本的な考え方

**Q** 合併の検討がなぜ長門市、津北町との組み合わせは考えられないのか？

**A** 以前からの経済圏などを考慮した上で、県が長門市、津北町を合併の検討をする目安として示しました。

向津具地区などは渡海船の運行の頃から栗野とのつながりがあると思います。豊北町内でも滝部を境に経済圏が下関と長門に分かれるようですが、現在、豊北町は下関市を含めた一市四町と、下関市を除く四町との二通りの組み合わせで合併への取り組みを協議・検討しています。

**Q** 今厳しい状況だから合併するとしても、人口が減少することが明確であり十年から二十年先に更なる合併

が必要になるのでは？

**A** 長門市と津北町三町は合併しても人口が四万人台であり、市町村合併が今後進み地方分権の更なる進展で県のあり方等も変わってくることも予想されます。現在は、県の示した組み合わせで合併について考えなければならぬが、十年・二十年後は次の段階を迎えることも充分考えられます。

**Q** 農協、漁協、森林組合の合併は組織の目的だけで合併が進められ良いことがなかったが、住民のためのまちづくりというが後付けのような気がするが？

**A** 確かに農協、漁協、森林組合の合併の話はよく引き合いに出されますが、経済団体や民間企業は採算性を重視して、合理化を推進し

ていますが、地域住民にサービスを提供する行政の合併に関しては、サービスの低下はあってはならないことであり、オンライン化やあらゆるシステムを駆使してサービスの提供に努めます。

## 合併問題に今後どのように取り組むのか？

**Q** 合併手続きの具体的な時期は示せないのか？また、法定合併協議会の設置に向けたスケジュールは？

**A** 合併には法定合併協議会の設置が必要であり、合併の是非を含めてあらゆる事項が協議されますが、合併の実現まで約二年を要すると言われている。よって今年いっぱいには法定合併協議会を立ち上げることを検討し、新しいまちづくりへ

向けていろいろな意見を出し合っていかなければならないと考えています。

**Q** 自治会単位等での説明会は計画しないのか？

**A** 今後、合併や新しいまちづくり等の議論を深めていくため、町企画課や県の前講座等を自治会等で利用していただきながら、住民のコンセンサスを得ていきたいと考えています。

